

パブリックコメントで提出された意見及び意見に対する町の考え方

- 募集期間(計画案の公表日):令和8年2月3日(火)～3月6日(金)
- 意見及び提案者数:1名
- 意見及び提案件数:4件

○第3次新宮町地域福祉計画(素案)に関する意見・質問等

番号	該当箇所等(目標や項目名など)		意見・提案の内容(概要)	意見等に対する本町の考え方	原案の修正
1	基本目標1・5 (担い手育成・住民参加)	P.19-20(アンケート結果)、P.74(施策)	1. 住民参加のハードル低減と「役員のなり手不足」への支援 短時間・単発のボランティア登録制度や、自治会運営の負担を減らすためのICT活用支援などを具体化してほしい。 アンケートでは活動参加率が下がっており、「時間がない」という声が目立ちます。私の近所でも、自治会の役員等のなり手がおらず、特定の人 の負担が大きくなっている話をよく耳にします。責任の重い役職だけでなく、「できるときに、できる分だけ」関わられる仕組みがあれば、現役世代も参加しやすくなるはず です。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。 基本目標1-3:地域における支え合いとボランティア活動の促進(計画素案47ページ～)でも触れているとおり、住民参加による協働のまちづくりを推進するため、ボランティアやNPOが積極的に活動できる環境整備を進めていくとともに、活動支援の充実を図ります。ボランティアの情報については、社会福祉協議会のHPなどで募集しておりますので、是非ご活用ください。	無
2	基本目標3・4 (生活支援・安心のネットワーク)	P.23(ヒアリング結果)、P.62(取組内容)	2. 将来の「移動の困りごと」を支える公的支援の充実 ボランティア任せにしない、町が主体となった移動支援(コミュニティバスのルート見直しや乗り合いサービス等)を強化してほしい。 新宮町は坂道が多い地域もあり、足腰が弱くなった際の移動は死活問題です。私の周りでも「今はいいけれど、将来の車の運転が心配だ」という不安の声をよく聞きます。安全性や継続性を考えると、有志の支援だけでなく、町としての持続可能な仕組みづくりが不可欠だと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。 コミュニティバスなどの公共交通ネットワークについては、変化していく人口形態などを考慮した上で、新宮町地域公共交通計画において目標や施策を掲げ、取り組んでまいります。 また、現在高齢者移動支援事業として、タクシー運賃やコミュニティバスの運賃の一部を助成する事業など高齢者福祉の向上を目指しています。	無
3	基本目標2(災害に強い地域づくり)	P.23(ヒアリング結果)、P.54(取組内容)	3. 「避難訓練」の実効性向上と個別計画の共有 要配慮者の「個別避難計画」の策定を急ぎ、実際に車椅子やベビーカーで避難所まで移動する実地訓練を町主体で後押ししてほしい。 ヒアリング調査で障がい児施設等から「実際に避難所まで移動したことがない」という不安が出ているのは深刻です。災害時に誰が誰を助けるのかを明確にするためにも、書類上の計画だけでなく、地域住民と一緒に歩いて確認するような実践的な取組が必要です。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。 個別避難計画の作成は急務であると認識しており今年度から地域の協力を得ながら取り組んでいます。様々な課題もあることから検証を行いながら実効性のある計画となるよう進めていきます。避難訓練については避難所の避難だけでなく屋内安全確保なども踏まえ、地域の協力のもと現実的な訓練となるよう取り組んでまいります。	無
4	基本目標1・3 (居場所づくり・子ども支援)	P.20(アンケート結果)、P.61(取組内容)	4. 子どもと高齢者が自然に交流できる「居場所」づくり 学校グラウンドの更なる活用や、多世代が自然に挨拶を交わせる「多世代交流型」の居場所づくりを推進してほしい。 アンケートでも「子どもの遊び場」への関心は非常に高いです。新しく町に来た子育て世代と、昔から住む高齢者が自然に顔見知りになれる場所が増えれば、それが地域の見守りや防犯、ひいては孤独死の防止にも繋がると考えます。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。 基本目標1-2:地域交流の促進において(計画素案41ページ～)でも触れているとおり、行政として、子どもから高齢者といった多くの世代が気軽に楽しめる交流の機会づくり等を行ってまいります。 その他公共施設についても、スポーツ団体とのバランスを図りながら、町民みなさまが利用しやすい環境づくりに努めてまいります。	無